



総務省

Ministry of Internal Affairs  
and Communications

## 地域人材ネット

地域資源を活用した体験型観光推進での  
交流人口増加による観光まちづくりの取り組み

中田 浩康 ( なかだ ひろやす )

有限会社アグリテック 代表取締役



### ○ 登録者情報

所在地

北海道上川郡東川町

## 略歴

栃木県出身 東京農業大学卒

1997年～2001年 社団法人農山漁村文化協会(農文協)

出版営業活動をしながら全国幾多の農村を歩き、農村の持つ地域力について学びました。

2001～2003年 退職後、北海道を新天地としフリーライターとして道内の農村を歩き、北海道の農村の魅力をフリーペーパーやブログ等で発信。

2003年～同社設立とともに入社

地域資源を活用した都市と農村との交流体験の企画を担当し、グリーン・ツーリズムの持つ可能性を活かし交流人口増加から滞留、移住、地域活性化に向けた受地主導型の体験観光のコーディネートを行なっています。また、市町村と連携し地域資源活用型の地域再生マネジメントを行なっています。

2007年～2008年 地域再生マネージャーとして自然体験型観光推進事業(北海道東川町)

2008年 財団法人地域総合整備財団 地域再生人材相談事業「いいひと人材情報デスク」登録

2008年～2009年 雇用創造推進アドバイザー(北海道労働局)

2012年～農村活性化支援アドバイザー(農水省)

## 著書・論文等

「中田ヒロヤスの、今、農村空間が面白い！」(2012年3月～月刊誌「北海道経済」に連載中)

農業体験受け入れQ&A集(北海道協同組合通信社発行・共著)

## ○ 地域資源を活用した体験型観光推進での交流人口増加による観光まちづくりの取り組み

### 取組の内容

地域固有の自然、景観、文化、農産物など地域資源を観光資源化し、交流人口増加による地域活性化のお手伝いをしています。そしてこれらの取り組みを通して「また行きたくなるまちづくり」「住んでいて良かったまちづくり」をご提案しています。

#### 1. 地域資源調査分析

自分たちが住んでいる地域の自然や景観、農産物や文化などの掘り起こしをお手伝いしています。

#### 2. グリーンツーリズムにおける都市農村交流活動

農業体験や食資源を活用した農村体験ツーリズムの受入の取り組み。受入のノウハウなどご指導しています。

#### 3. 受地主導型体験観光の推進とブランディング、ネットワーク構築

地域資源を観光資源化し、来訪者が訪れてみたくなるきっかけづくりをしていきます。また、観光資源に磨きをかけるプログラムづくり、内発的なホスピタリティの育成など指導しています。

#### 4. 廃校・廃屋・廃施設等活用、移住定住への取り組み

体験観光情報に興味をもってもらい、実際に体験することで地域のファンになってもらい、もう一度やってみたいプログラムでリピーターになってもらい、滞在型観光で定住、移住にという淡い理想を持ちながら、地域の廃屋や体験ハウスなどを利活用して移住や定住につなげる取り組みを実施しています。また、廃校や廃施設の活用策についても提案しています。

○2007年度東川町地域再生マネージャー事業(ふるさと財団事業)では、自然体験型観光推進として、大雪山国立公園旭岳での自然体験の場の提供、ガイドとの連携による体験プログラムづくりを行いました。特に閑散する冬の体験観光需要を多くするためにスノーシュー体験などウィンターメニューの構築をおこないました。また、自然体験のほか町内にワンストップ窓口を設置し、潜在的な町内の観光人材の掘り起こしと、地域の人材がインストラクターをつとめる体験観光のメニューづくりを実施し、新たな地域の観光資源として定着。写真の町としてユニークなまちづくり宣言をしている東川町にちなんで、町内の写真家とも連携し、写真現像体験もメニュー化しここだけでしかできない限定メニューなども開発しました。現在も、観光協会が主導し持続的な体験受入をおこなっています。



氷彫刻発祥の地「東川町」  
ならではのこだけメニュー  
「氷彫刻体験」の開発



ガイドと連携したスノーシュー体  
験プログラムの恒常化



「写真の町」を宣言している  
東川町ならではの地元写真家と  
連携した「写真現像体験」の開発

## 実績

- 農村資源を活用した集客人口の増加のため、2005年に旭川周辺管内ではじめて東川町で「ひがしかわグリーンツーリズム推進協議会」を設立。以降、グリーンツーリズムでのまちおこしをキーワードに旭川周辺の各市町村で講演活動や、受入体制の指導しながら各市町村に農業体験等を受け入れるグリーンツーリズム協議会の設立にアドバイザーとして関わり、5つの協議会が誕生しています。また、グリーンツーリズムでの滞在観光の推進のため、旅館業を取得する農家民泊業を2008年に管内ではじめて東川町の農家30軒の取得を後押しし、現在旭川市など周辺エリアを含め70軒ほどが農家民泊の許可を取得しています(2011年12月現在)。このような取り組みがはじまったのは全国的にみても珍しくはありませんが、北海道でこのような受入体制は当時まだなかったため先駆的な取り組みとして評価していただきました。現在、旭川周辺エリアで年間平均15校の修学旅行で、2,000人ほどの農業体験交流の場を創出しています。
- 体験観光に関わる事業を各市町村で実施し、2007年の地域再生マネージャー事業では、東川町で「ひがしかわDE感動体験」としてワンストップ窓口を設置。地域のガイドやインストラクターと連携した受け入れコーディネート体制を確立。そのノウハウを利用し、翌年から管内全体の観光コーディネートを担い、年3,000人以上の一般旅行者のマッチング作業をしています。
- 廃校・廃屋・廃施設の活用では、2009年上川管内剣淵町の旧スキー場の活用を提案し、アルパカ牧場として現地法人設立に関わり現在年間約3万人あまりの来場となり、新たな観光スポットとして定着してきています。
- 2005年～2年間、地元の企業とコンソーシアムを組み取組んだ移住事業では、移住モニターツアーなどを実施し、約20組の参加者のうち、旭川、東川に結果的に5組の移住者を招き入れることができました。現在も定住しており、さまざまな分野で活躍しています。
- 農ガールや山ガールといったアクティブなアウトドア好きの女性をターゲットにした交流体験の場を創出。2012年3月には、北海道最高峰旭岳での山ガールファッションコレクション「山コレin旭岳」をはじめ開催し、旭岳温泉の活性化に向けて取り組んでいます。
- 近年増加するインバウンド観光客を対象に外国人向けの観光プログラムの企画やコンテンツの開発、また外国人留学生を活用した観光アシスタント人材育成など、インバウンド観光の企画開発などをおこなっています。(2015年東川町台湾誘客事業、2017年～旭川周辺域におけるインバウンド観光推進、観光庁事業留学生スキーアシスタント人材育成など)
- 自治体や、観光受け入れ組織や団体等からの講演依頼のほか、課題解決に向けた指導助言等おこなっています(北海道内自治体、受け入れ団体等での講演、指導助言、ほか秋田県など。2017年度総務省「地域資源・事業化支援アドバイザー事業」にて北海道石狩市へアドバイザーとして派遣。継続して指導助言等を実施)。



都市と農村との交流活動(農業体験の様子)



旭岳観光地活性化事業(山ガールツアー)



地域の食材資源の掘り起こしイベント



旧スキー場を活用したアルパカ牧場  
(新たな地域観光の拠点に)

## 工夫した点や苦労した点

地域資源調査を地元のみなさんと一緒にやり、観光資源化に向けた取り組みをしていくことが持続的な地域交流活動をおこなっていく上で時間はかかりますがイチバンの近道です。地域に点在している観光資源を面にして集約し発信していく作業がイチバン大変な作業ではありますが、この受地主導型の観光情報集約・発信が地域独自の個性あるブランドにつながっていくこととなります。またわたしは外部の人間なので、いずれ去っていくことを理解していただき自分たちで継続していけるように常に意識して取り組んでいます。

## ひとつことPR

地域が地域であるために、まずは自分の住んでいる地域の資源(宝物)を探ることからはじめてみませんか？ 地域のみなさんが地域資源を知り、他人事ではなく当事者となって考えていく場を創出していきます。さらにそれら地域資源を活用しながら観光や交流人口増加の推進を切り口とした地域活性化を図っていきます。観光まちづくりの視点から地域の課題解決、地域再生の一助になればと思います。

## ○ 参考

### 取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進	○	11	その他
○	6	観光振興・交流			

### 関連ホームページ

有限会社アグリテック	<a href="http://www.agtec.co.jp">http://www.agtec.co.jp</a>
------------	---

### 連絡先

メールアドレス	agtec[アットマーク]agtec.co.jp	その他	0166-82-0800 (事務所電話)
---------	--------------------------	-----	-------------------------

※メールを送る際は[アットマーク]を『@』に変えてください。